

日本初の音楽合宿施設を、これからも地域の宝に  
**神倉稔さん**「北軽井沢ミュージックホールサポーターズ」会長

北軽井沢交差点近くにある「北軽井沢ミュージックホール」は、1967年、音楽家・斎藤秀雄さんらにより建てられた、日本初の学生のための本格的な合宿施設です。ここから世界を目指す多くの音楽家が生まれました。地元在住の神倉稔さんは、10年ほど前、ホールの運営をサポートするボランティアグループ「ミュージックホールサポーターズ」を立ち上げました。

「ホールを利用する演奏家自身が掃除や準備をしているのを見て、地元住民の僕らも手伝えることがないかと。同時に町も改修工事を行って来て建物の一部がリニューアル。翌年から夏の間、様々なプログラムを組み込んだ『ミュージックホールフェスティバル』を開催し、年々訪れるお客さんも増えています。」

「このホールの魅力は、演奏者と観客が一体になれるところ」と神倉さん。「音響設備などはよその大きなホールにはかないませんが、ステージと客席の距離が近い。演奏するほうも聴くほうもひとつになれるんです。半屋外なので鳥の声や風の音が演奏に混じったり、音楽は自然の中から生まれるということを感じられます。住民、観光客問わず広く北軽井沢の財産として知ってもらい、足を運んでもらいたいと思います」。



「ミュージックホールサポーターズ」ではメンバーを募集中！  
 「特に地元の若い方には、企画をいっから立ち上げるなど、どんどん参加してもらいたいです」

浅間牧場で浅間火山の噴火史を探る  
 やすい まや  
**解説：安井真也教授**  
 (日本大学文理学部地球科学科)

浅間牧場といえば天丸山からの雄大な景色を思い浮かべる方もいるかもしれません(写真1)。最近、天丸山の周辺で地質調査を行ったところ、地表下5メートルほどの黒色土壌中から微細な火山ガラスの粒子(アカホヤ火山灰)が見つかりました(写真2)。これは屋久島の北方の海底火山(鬼界カルデラ)で7300年前頃に巨大噴火が起きて、東北地方に及ぶ広範囲に降灰があった時のものです。浅間山麓でも、約1000キロメートルもの遠方から飛来したキラキラ光る火山灰を目撃した縄文人がいたのかもしれない。今回アカホヤ火山灰の上下に軽石や火山灰の地層が確認され、浅間火山の縄文時代の活動の手がかりが得られました。広大な浅間牧場の地面の下は、浅間火山の噴火の歴史に関する情報の宝庫といえます。



写真1  
 天丸山からの風景の一部の小浅間山。約2万年前に粘り気の高い流紋岩質マグマが噴出して生じた溶岩ドーム。

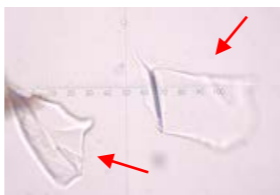


写真2  
 微細な火山ガラス粒子(赤矢印)、各粒子の大きさは10分の1ミリ程度。アカホヤ火山灰の偏光顕微鏡写真。



# あさまびと

## Asama - bito

2017冬号

Vol.03



## 行ってみよう!



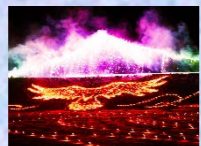
2/2・3(金・土): 嬬恋・浅間高原ウインターフェスティバル (嬬恋村)

雪と氷で作られたイベント会場で、打ち上げ花火をはじめ、スノーアクティビティやライブパフォーマンスも楽しめます。



2/10(土): 北軽井沢炎のまつり (長野原町)

4000本のキャンドルで真冬の北軽井沢の夜が幻想的な空間に包まれます。太鼓演奏や打ち上げ花火も楽しめます。



- 11/17(金) ジオヨガ(浅間園13:30~)
- 11/23(木・祝日) 映画「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」上映会&トーク in 嬬恋(嬬恋会館13:30~)
- 12/19(火) 浅間北麓ジオパークフォーラム(嬬恋会館)
- 1/20(土) 川原湯温泉湯かけ祭り(王湯前)
- 2/10・11(土・日) 浅間高原雪合戦大会(北軽井沢グラウンド)
- 2/18(日) スノーシューモニターツアー(浅間園)
- 3月 フォトコンテスト表彰式

浅間山北麓ジオパークフォトコンテスト  
 今年も、フォトコンテスト作品募集中です!

募集期間: 2017年6月1日~2018年2月7日  
 撮影期間: 2017年1月1日~2018年1月31日  
 詳しくは浅間山北麓ジオパークHPに掲載中

昨年度 フォトコン受賞作品「雪原と浅間山」

### サポーターの受付しています

浅間山北麓ジオパークでは、ジオパーク活動に関心のある皆さまとともに、日々ジオパーク活動を行っています。

私たちとともにジオパーク活動に参加していただける「サポーター」を募集しています。ジオパークの活動に参加していただける方やジオパークについて詳しく聞きたい方は右記推進協議会までお問い合わせください。

### 編集後記

秋の紅葉から冬の銀世界へ刻々と姿を変える浅間山の景色を楽しむ今日この頃です。ジオパーク通信次号は3月に発行予定です。

### 発行元: 浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council  
 (新住所)  
 〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村鎌原414-1  
 TEL/FAX: 0279-82-5566 URL: www.mtasama.com  
 E-mail: geo-asama@vill.tsumagoi.gunma.jp  
 Facebook: www.facebook.com/asamageopark  
 制作担当: 広報・観光委員会



## 冬をたのしむ

わずかひと月前まで緑のじゅうたんに覆われていた高原も、真っ白なカーペットに覆われる冬。長い冬を耐え込んで春を待つ時代から、今は凛とした冬を楽しむ暮らしが広がっています。降雪とともに周辺の5つのスキー場がオープンし、子供たちのスケート教室なども繰り広げられる一方、鹿沢エリアの湯の丸山や高峰高原の黒斑登山など冬を身近に楽しむ人たちが増えています。晴天率の高い浅間高原では、冬の星空観察も絶好の場所だと言われています。

今季号の特集では、毎年楽しむ人が増えているスノーシューを取り上げてみました。夏に見た同じ景色も白銀の冬では、また異なった姿を見せてくれますし、夏よりも行動の範囲が広がることもあり好評です。ジオパークの自然を冬を楽しんでみませんか。

## ジオパーク事務局移転のお知らせ



総合拠点施設である浅間山北麓ジオパーク総合インフォメーションセンターを、11月中旬に嬬恋郷土資料館のとなりに建つ、嬬恋村地域交流館内に移すこととなりました。

ジオパークを知っている方も知らない方もぜひお気軽にお立ち寄りください、お待ちしております。

詳しい住所等については裏面をご覧ください。